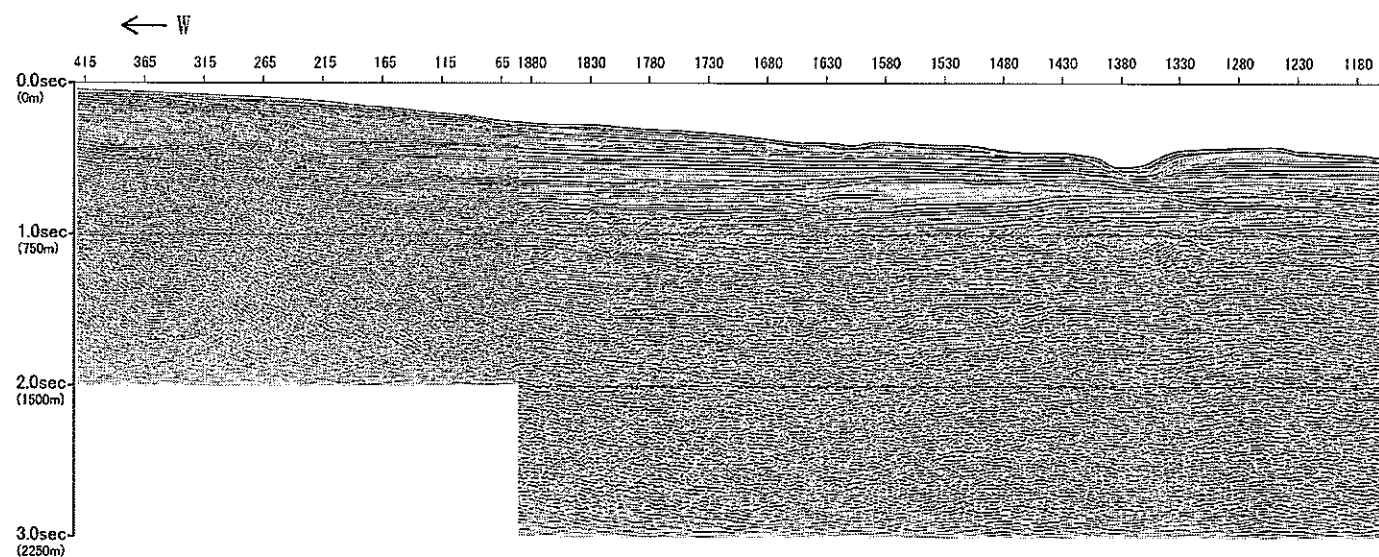
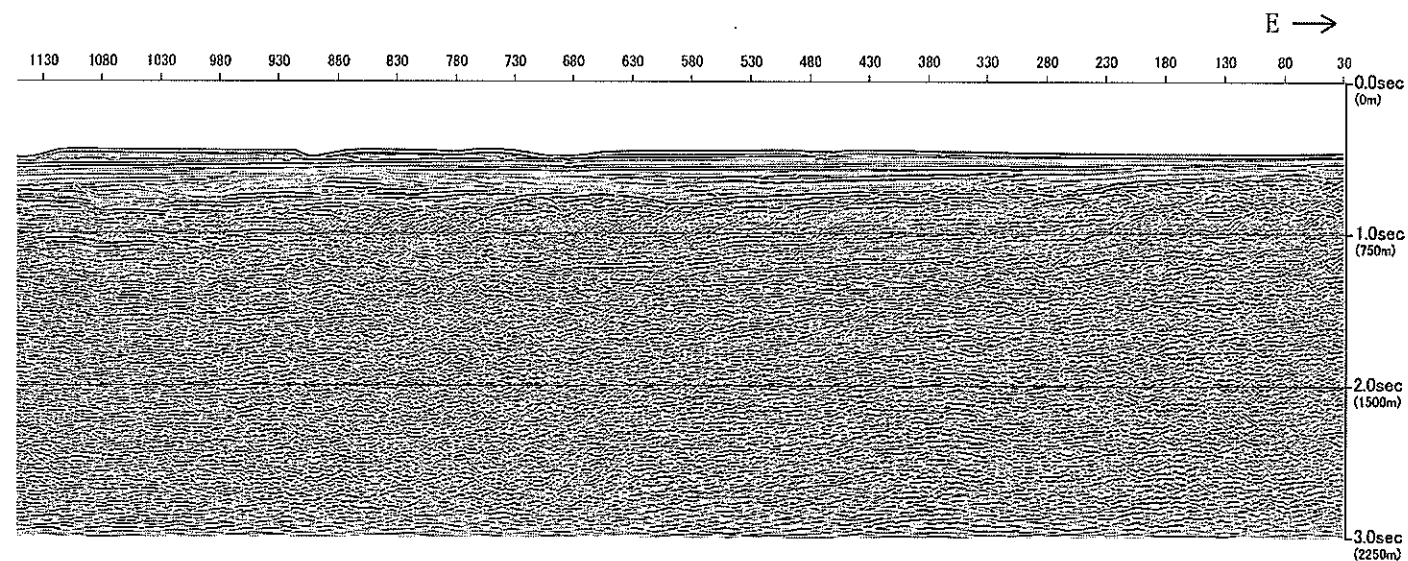


## 28. 大陸棚外縁の断層

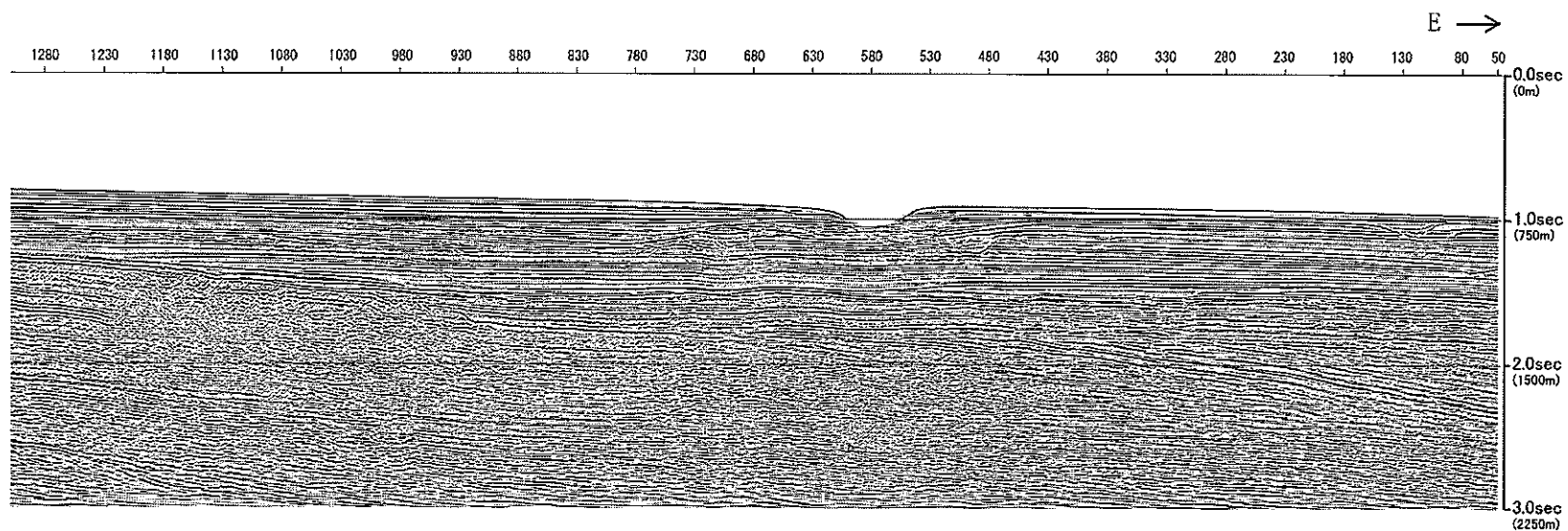
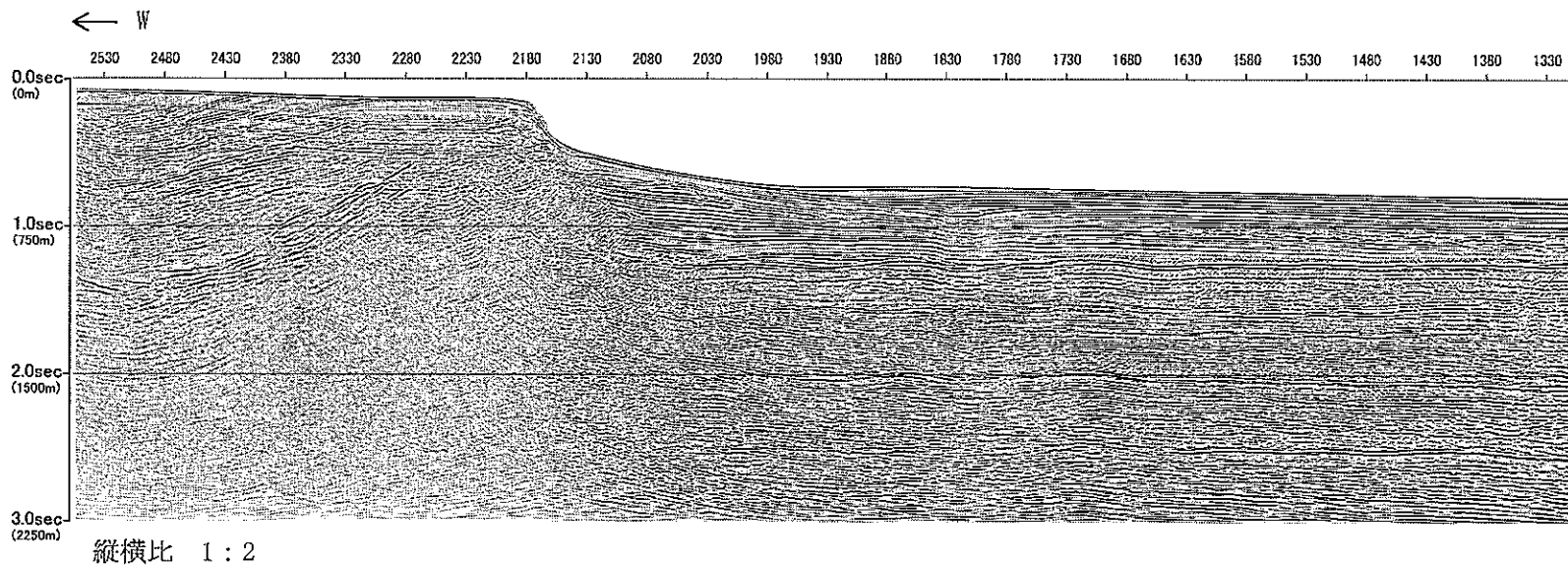
調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	<p>[新編] 日本の活断層(1991):崖高さ200m以上、長さ約84km、東落ちの活断層</p> <p>「下北半島沖海底地質図」地質調査所(1993):白糠沖付近に約5km(伏在断層)、尻屋崎海脚に沿って長さ約24km(そのうち北部の約20kmは伏在断層)、東落ち</p> <p>「下北半島沖」海上保安庁水路部(1975):白糠沖付近に約37km、尻屋崎海脚東縁に沿って約45km、東落ち</p>	
物理探査	海上音波探査	<p>[新編] 日本の活断層(1991)等で示されている断層位置付近のD層及びCp層中に、断層の推定が可能である。</p> <p>白糠以北:Bp層とCp層との境界は明瞭に連続しており、Cp層上面に変位及び変形等は認められず、またBp層は連続する層理を示し断層を示唆する地層の明瞭な乱れは認められない。</p> <p>白糠以南:推定される断層直上のBp層とCp層との境界は、大陸斜面下部から深海平坦面にかけて明瞭に連続し、Cp層上面に断層を示唆する変位及び変形は認められない。</p>	<p>第28-1図:海上音波探査記録(測線NO.1)</p> <p>第28-2図:海上音波探査記録(測線NO.2)</p> <p>第28-3図:海上音波探査記録(測線NO.3)</p> <p>第28-4図:海上音波探査記録(測線NO.4)</p> <p>第28-5図:敷地周辺調査海域海底地質断面図(測線NO.1)</p> <p>第28-6図:敷地周辺調査海域海底地質断面図(測線NO.2)</p> <p>第28-7図:敷地周辺調査海域海底地質断面図(測線NO.3)</p> <p>第28-8図:敷地周辺調査海域海底地質断面図(測線NO.4)</p>
総合評価			<p>○白糠以北ではBp層とCp層との境界は明瞭に連続しており、Cp層上面に変位及び変形等は認められず、Bp層は連続する層理を示し断層を示唆する地層の明瞭な乱れは認められない。</p> <p>○白糠以南では推定される断層直上のBp層とCp層との境界は、大陸斜面下部から深海平坦面にかけて明瞭に連続し、Cp層上面に断層を示唆する変位及び変形は認められない。</p>



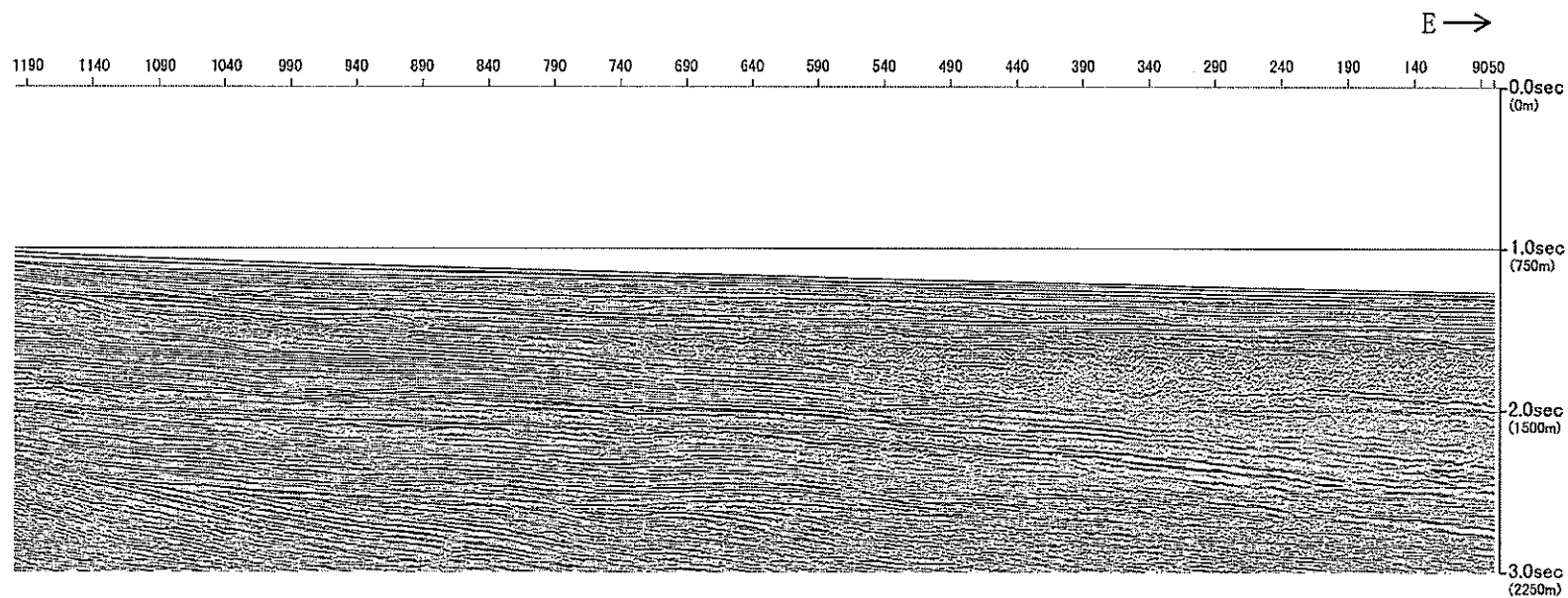
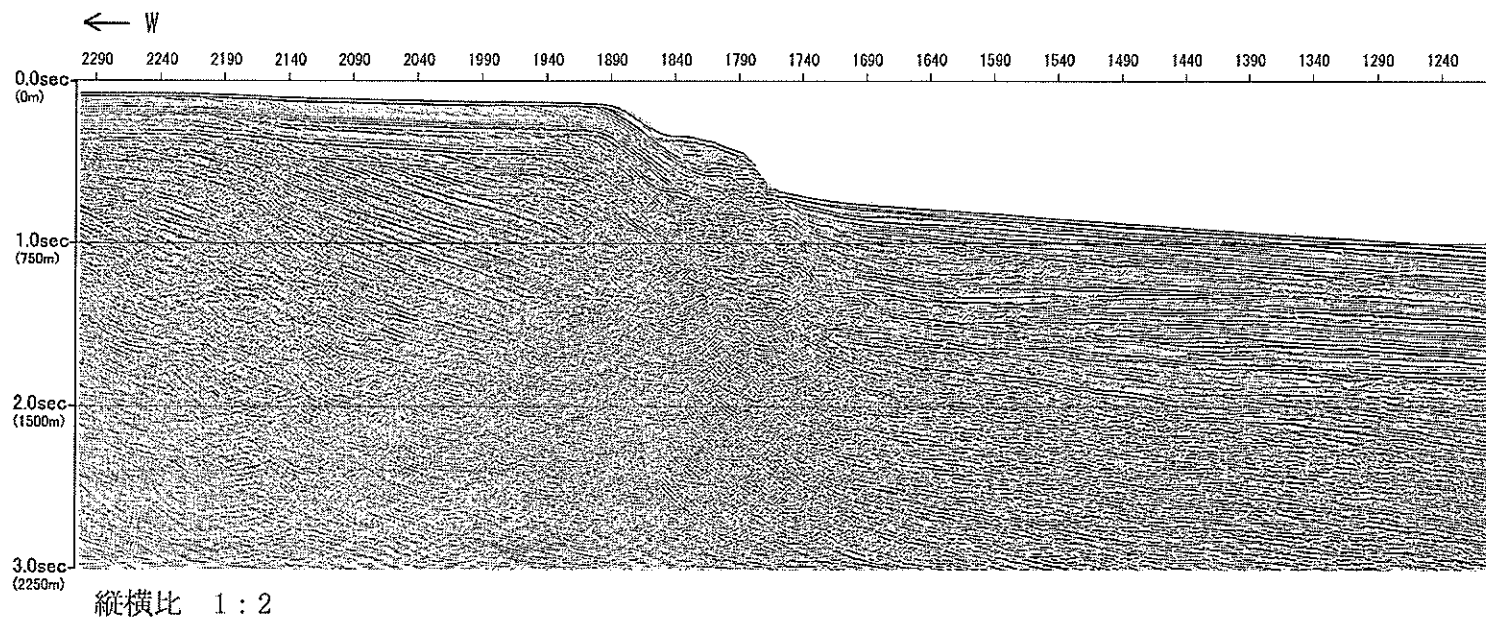
縦横比 1 : 2



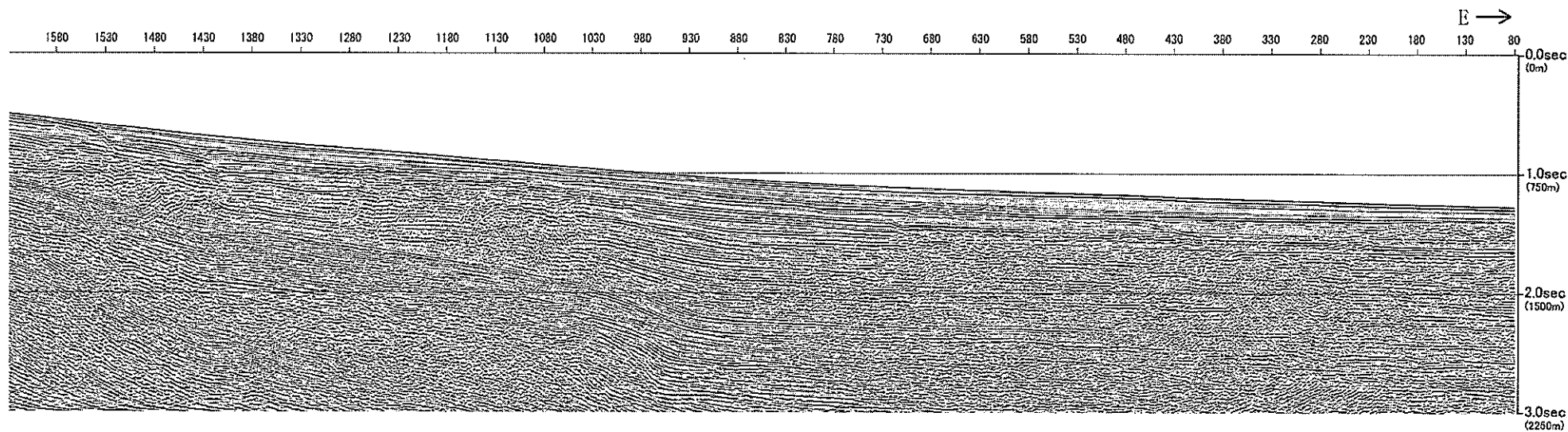
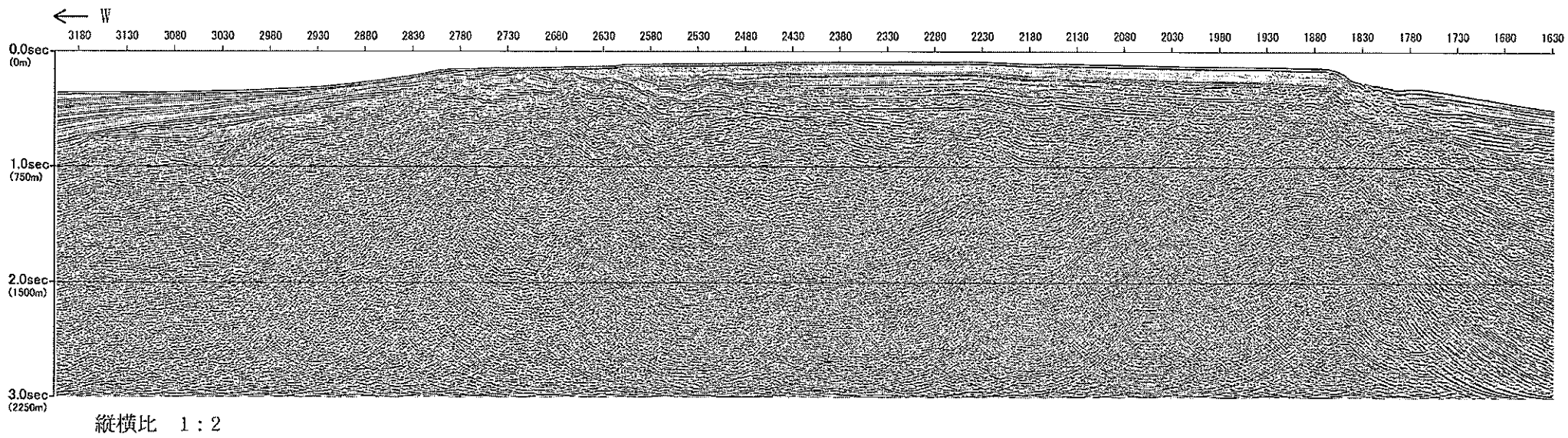
第 28-1 図 海上音波探査記録 (測線 NO. 1)



第 28-2 図 海上音波探査記録 (測線 NO. 2)



第 28-3 図 海上音波探査記録 (測線 NO. 3)

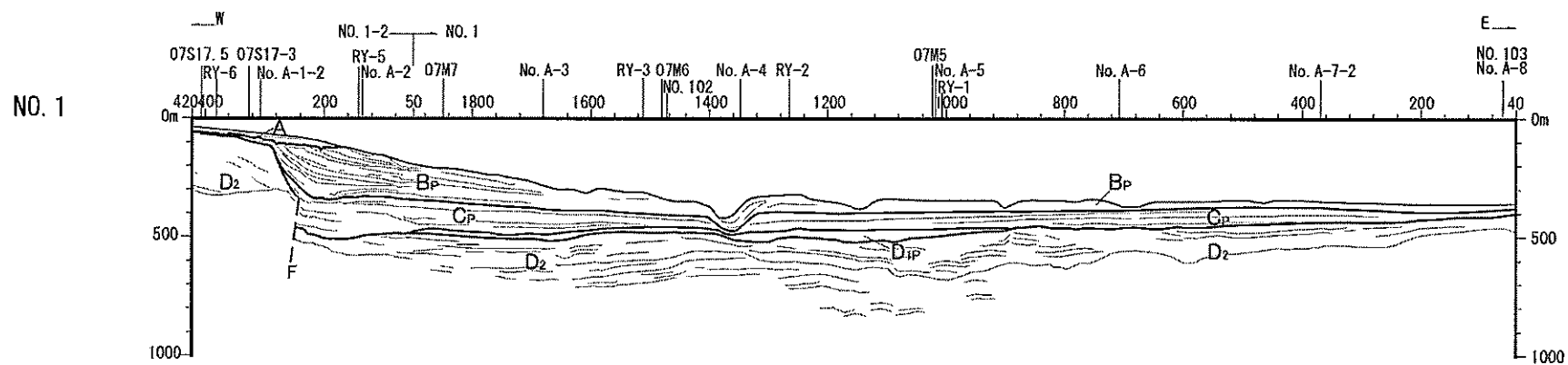
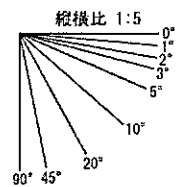


第 28-4 図 海上音波探査記録 (測線 NO. 4)

### 凡例

太平洋調査海域

- A A層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>P</sub> B<sub>P</sub>層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>P</sub> C<sub>P</sub>層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1P</sub> D<sub>1P</sub>層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界
- ⊥ F 断層

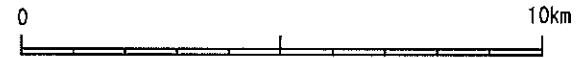
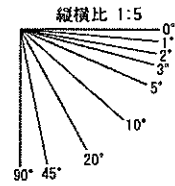


第 28-5 図 敷地周辺調査海域海底地質断面図 (測線 NO. 1)

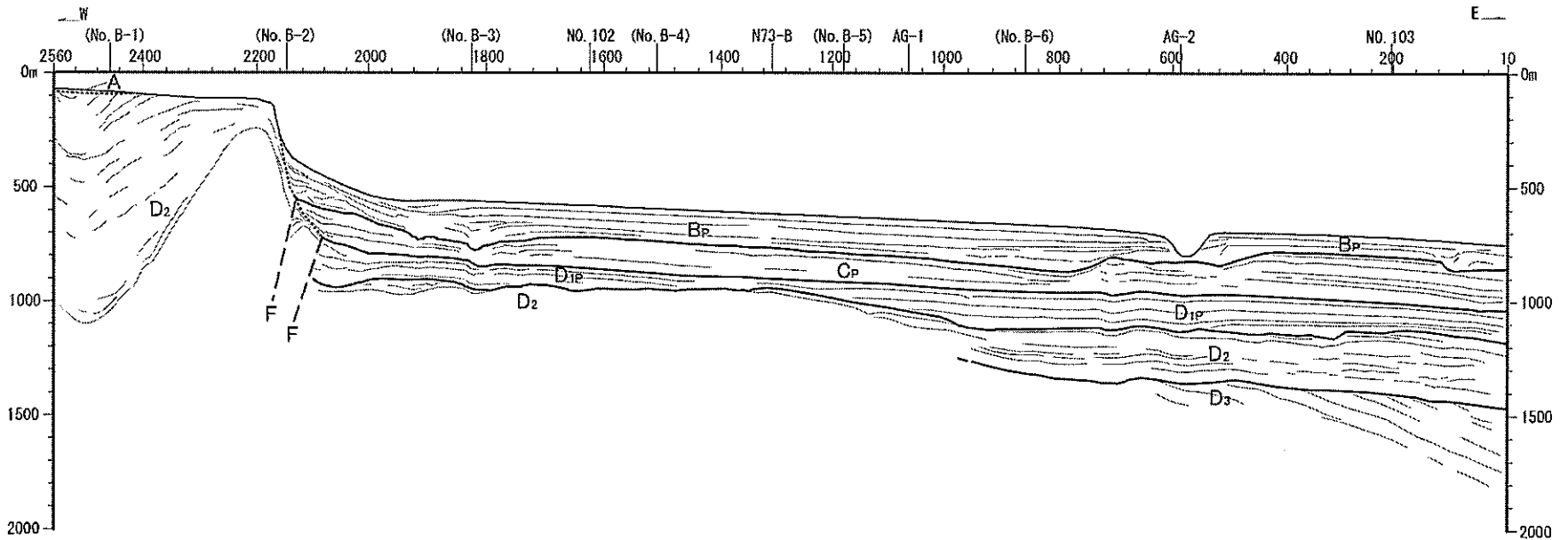
凡例

太平洋調査海域

- A A層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>P</sub> B<sub>P</sub>層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>P</sub> C<sub>P</sub>層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1P</sub> D<sub>1P</sub>層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界
- ||| 断层



NO. 2

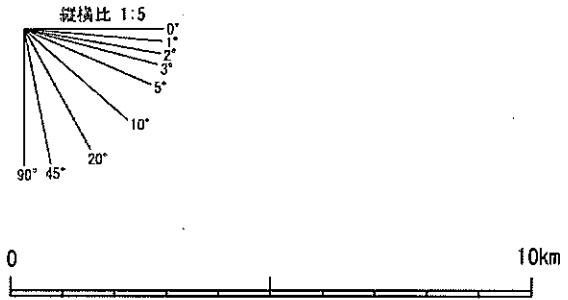


第 28-6 圖 敷地周辺調査海域海底地質断面図 (測線 NO. 2)

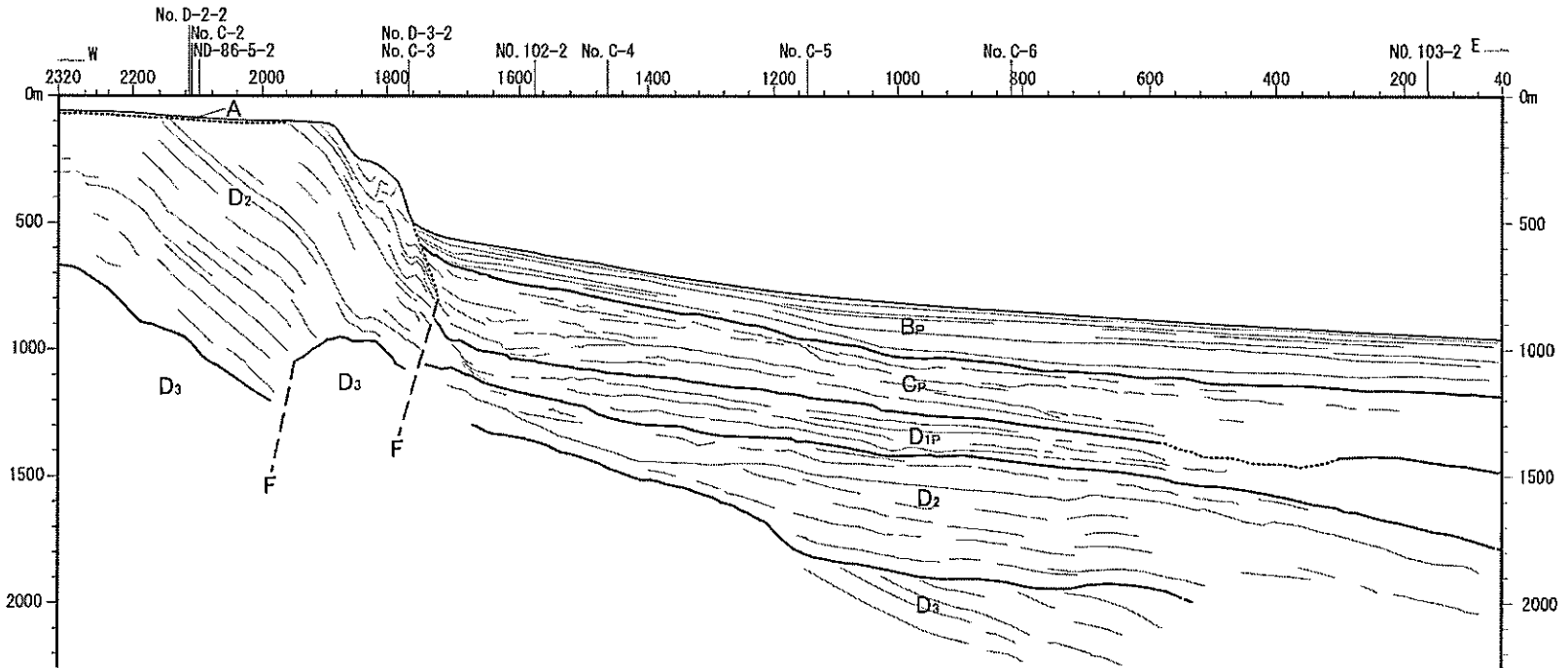
凡例

太平洋調查海域

- A A 層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>p</sub> B<sub>p</sub> 層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>p</sub> C<sub>p</sub> 層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1p</sub> D<sub>1p</sub> 層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub> 層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub> 層(先新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界
- ||| 斷層



NO. 3



第 28-7 圖 敷地周辺調査海域海底地質断面図 (測線 NO. 3)



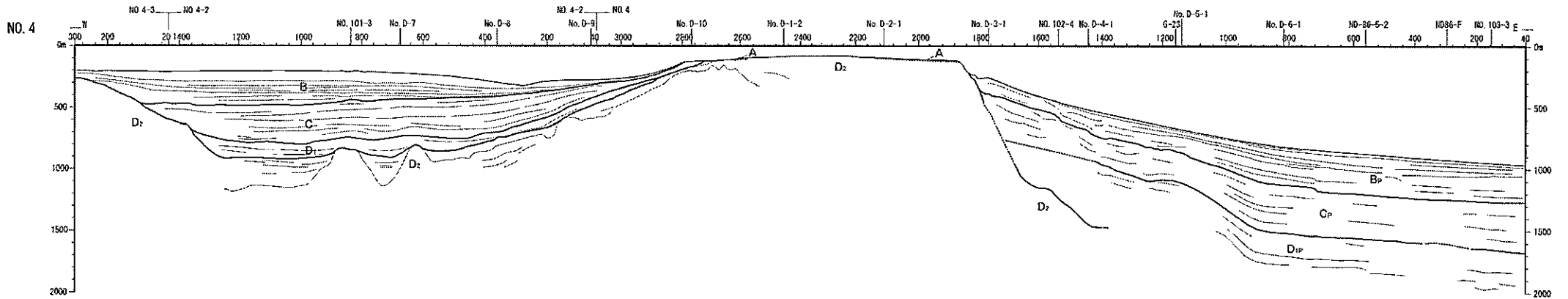
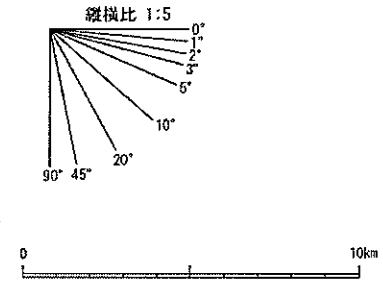
凡例

太平洋調査海域

- A A層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>P</sub> B<sub>P</sub>層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>P</sub> C<sub>P</sub>層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1P</sub> D<sub>1P</sub>層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- - - 推定地層境界
- | | F 断層

津軽海峡調査海域

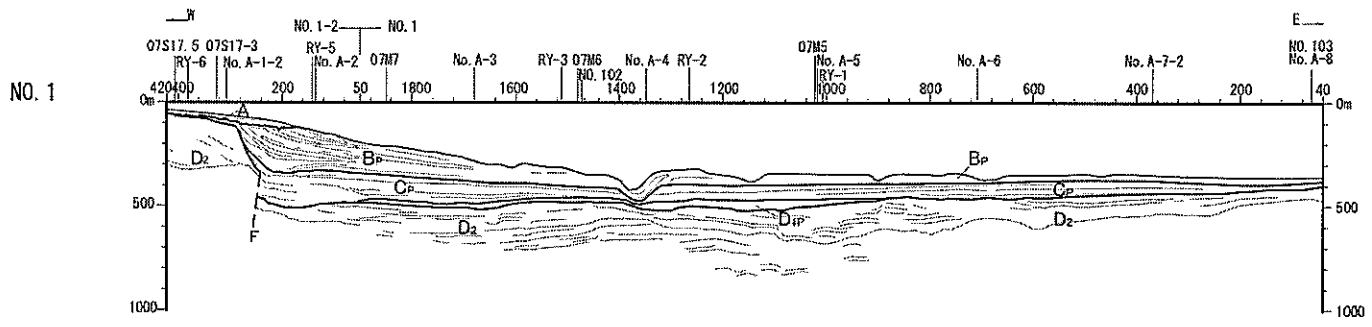
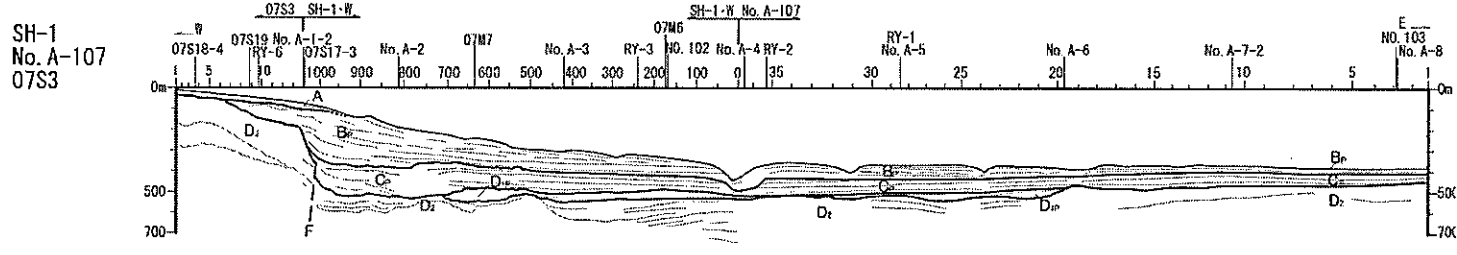
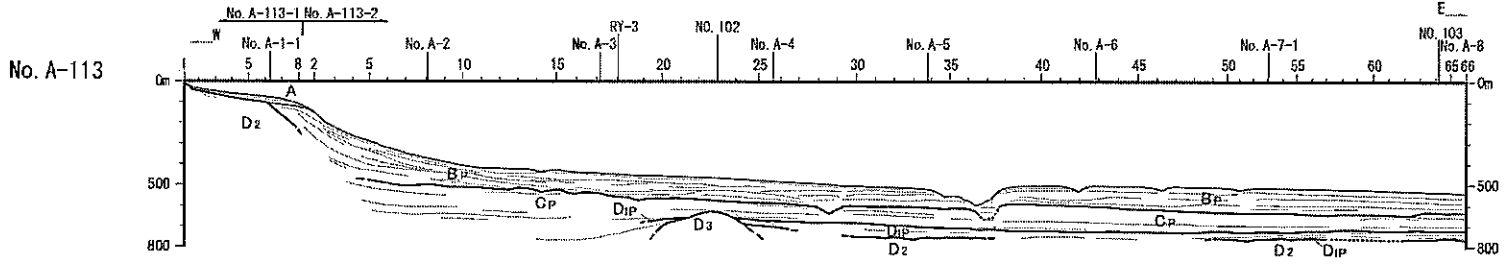
- A A層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B B層(第四紀中期更新世~後期更新世)
- C C層(新第三紀鮮新世~第四紀前期更新世)
- D<sub>1</sub> D<sub>1</sub>層(新第三紀中新世~鮮新世)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- - - 推定地層境界



第 28-8 図 敷地周辺調査海域海底地質断面図 (測線 NO. 4)

## 29. 小川原海底谷付近の断層

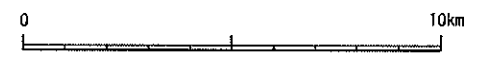
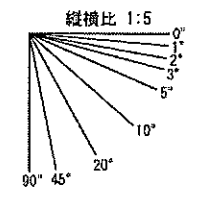
調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	「下北半島沖」海上保安庁水路部(1975):小川原海底谷付近に数条の断層を図示 「むつ小川原」海上保安庁水路部(1982)、「尻屋崎」海上保安庁水路部(1998):小川原海底谷付近に新第三系鮮新統内の海底地すべりを記載、海底地すべりはCp層に相当する層中の地層の不連続を読み取ったもの	
物理探査	海上音波探査 (記録の解析を含む)	文献で示されている断層又は海底地すべり付近のCp層とD層との境界は明瞭に連続し、断層を示唆する変位及び変形は認められない。	第 29-1 図:敷地周辺調査海域海底地質断面図
総合評価	○Cp層とD層との境界は明瞭に連続し、断層を示唆する変位及び変形は認められない。		



凡例

太平洋調査海域

- A A 層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>p</sub> B<sub>p</sub> 層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>p</sub> C<sub>p</sub> 層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1p</sub> D<sub>1p</sub> 層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub> 層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub> 層(先新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界
- |— 斷層



第 29-1 図 敷地周辺調査海域海底地質断面図

## 30. 尻屋崎南東沖、尾駁沖の断層及び伏在断層

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	「下北半島沖海底地質図」地質調査所(1993):尻屋崎南東沖に長さ約 4km の 2 条の断層及び伏在断層を図示、尾駁沖に長さ 3km~4km の 2 条の伏在断層を図示	
物理探査	海上音波探査 (記録の解析を含む)	文献で示されている断層付近については、Bp層とCp層との境界は明瞭に連続しており、Cp層の上限に断層を示唆する変位及び変形は認められない。 Bp層は連続性のある層理を示しており、地層の明瞭な乱れは認められない。	第 30-1 図:敷地周辺調査海域海底地質断面図
総合評価		○Bp層とCp層との境界は明瞭に連続し、Cp層の上限に断層を示唆する変位及び変形は認められない。 ○Bp層は連続性のある層理を示し、地層の明瞭な乱れは認められない。	

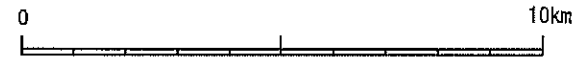
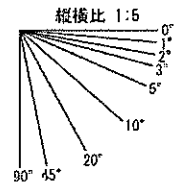
# 凡例

津輕海峡調査海域

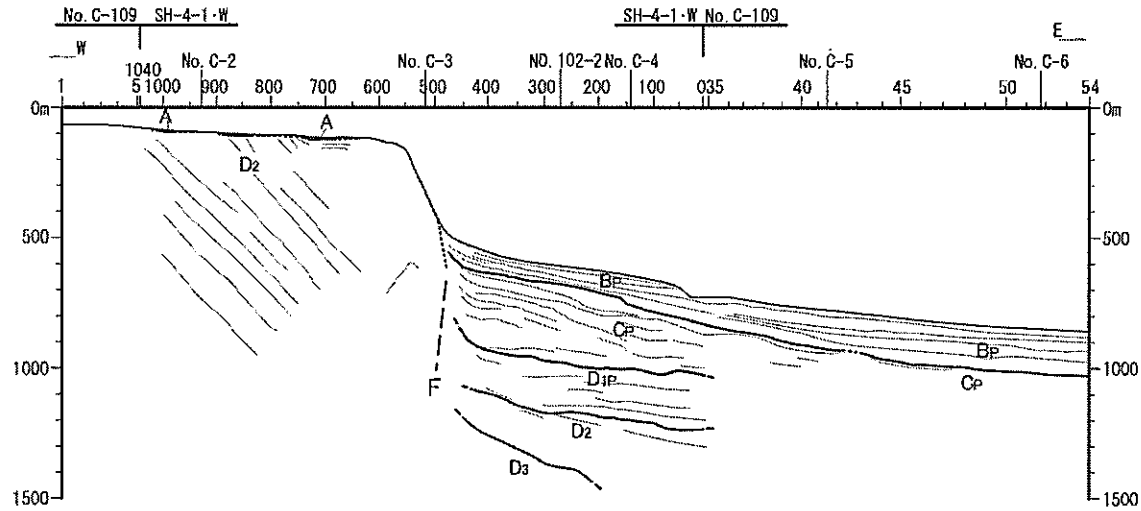
- A A 層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B B 層(第四紀中期更新世~後期更新世)
- C C 層(新第三紀鮮新世~第四紀前期更新世)
- D<sub>1</sub> D<sub>1</sub>層(新第三紀中新世~鮮新世)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- - - 推定地層境界

太平洋調査海域

- A A 層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>P</sub> B<sub>P</sub>層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>P</sub> C<sub>P</sub>層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1P</sub> D<sub>1P</sub>層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- - - 推定地層境界
- | F | 断層



SH-4-1  
No. C-109



第 30-1 図 敷地周辺調査海域海底地質断面図

## 31. 尻屋崎沖以北の断層

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	[新編] 日本の活断層(1991):長さ数 km の活断層 3 条	
物理探査	海上音波探査 (記録の解析を含む)	文献で示されている断層付近では、一部、B <sub>p</sub> 層とC <sub>p</sub> 層との境界が探査深度以深になるところがあるものの、B <sub>p</sub> 層とC <sub>p</sub> 層との境界が確認できるところではB <sub>p</sub> 層とC <sub>p</sub> 層との境界は明瞭に連続しており、C <sub>p</sub> 層の上面に断層を示唆する変位及び変形は認められない。また、B <sub>p</sub> 層とC <sub>p</sub> 層との境界が探査深度以深になるところについては、少なくともB <sub>p</sub> 層は連続性のある層理を示しており、地層の明瞭な乱れは認められない。	第 31-1 図:敷地周辺調査海域海底地質断面図
総合評価		<p>○B<sub>p</sub>層とC<sub>p</sub>層との境界が確認できるところではB<sub>p</sub>層とC<sub>p</sub>層との境界は明瞭に連続し、C<sub>p</sub>層の上面に断層を示唆する変位及び変形は認められない。</p> <p>○B<sub>p</sub>層とC<sub>p</sub>層との境界が探査深度以深になるところについては、少なくとも B<sub>p</sub> 層は連続性のある層理を示し、地層の明瞭な乱れは認められない。</p>	

# 凡例

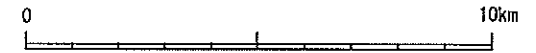
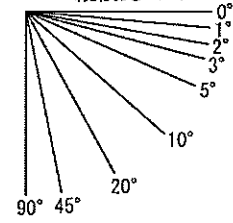
深裡海峡調査海域

- A A層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B B層(第四紀中期更新世~後期更新世)
- C C層(新第三紀鮮新世~第四紀前期更新世)
- D<sub>1</sub> D<sub>1</sub>層(新第三紀中新世~鮮新世)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界

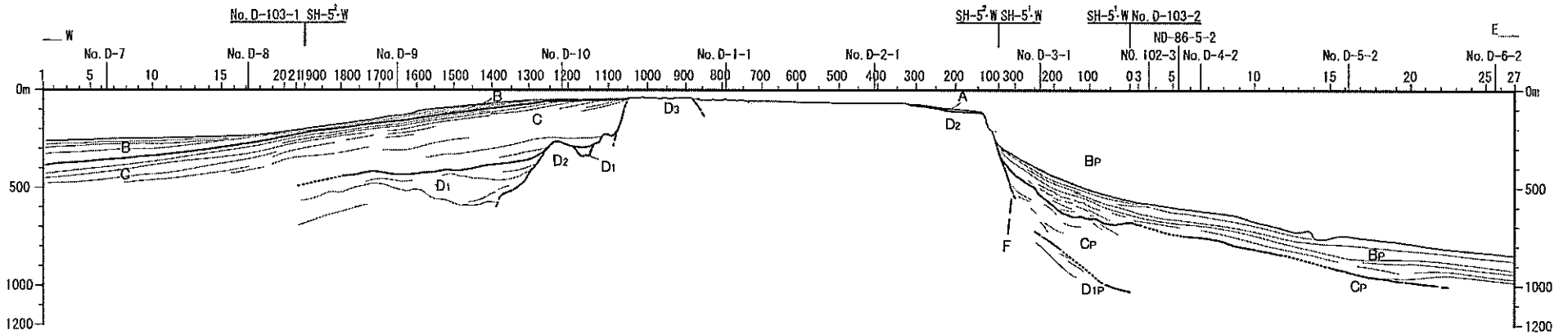
太平洋調査海域

- A A層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B<sub>P</sub> B<sub>P</sub>層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C<sub>P</sub> C<sub>P</sub>層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1P</sub> D<sub>1P</sub>層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> D<sub>2</sub>層(新第三紀中新世)
- D<sub>3</sub> D<sub>3</sub>層(先新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界
- ┆ F ┆ 断層

縦横比 1:5



SH-5  
No. D-103



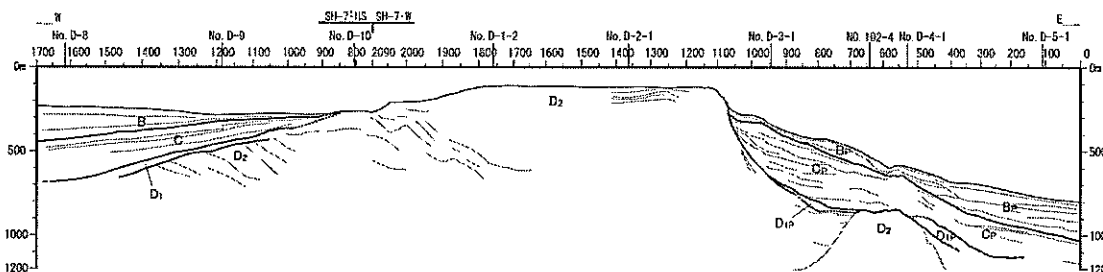
第 31-1 図 敷地周辺調査海域海底地質断面図

## 32. 尻屋海脚西縁部(津軽海峡)の断層及び撓曲

調査項目	調査手法	調査結果	備考
文献調査	—	[新編] 日本の活断層(1991):活断層として長さ10数km、活撓曲として長さ約10km	
物理探査	海上音波探査 (記録の解析を含む)	文献に示されている活断層及び活撓曲付近のB層とC層との境界は明瞭に連続しており、B層中には断層又は撓曲を示唆する変位及び変形は認められない。	第32-1図:敷地周辺調査海域海底地質断面図
総合評価	○B層とC層との境界は明瞭に連続し、B層中には断層又は撓曲を示唆する変位及び変形は認められない。		



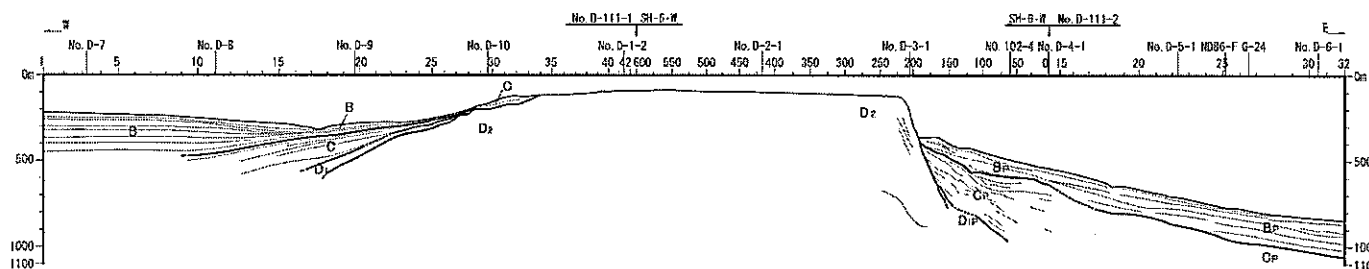
SH-7  
No. D-114



太平洋調查海域

- A 層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B 層(第四紀中期更新世後期~後期更新世)
- C 層(第四紀前期更新世初頭~中期更新世後期)
- D<sub>1</sub> 層(新第三紀中新世~第四紀前期更新世初頭)
- D<sub>2</sub> 層(新第三紀中新世)
- D<sub>1P</sub> 層(完新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界
- 斷層

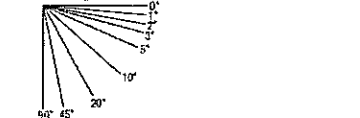
SH-6  
No. D-111



津輕海峽調查海域

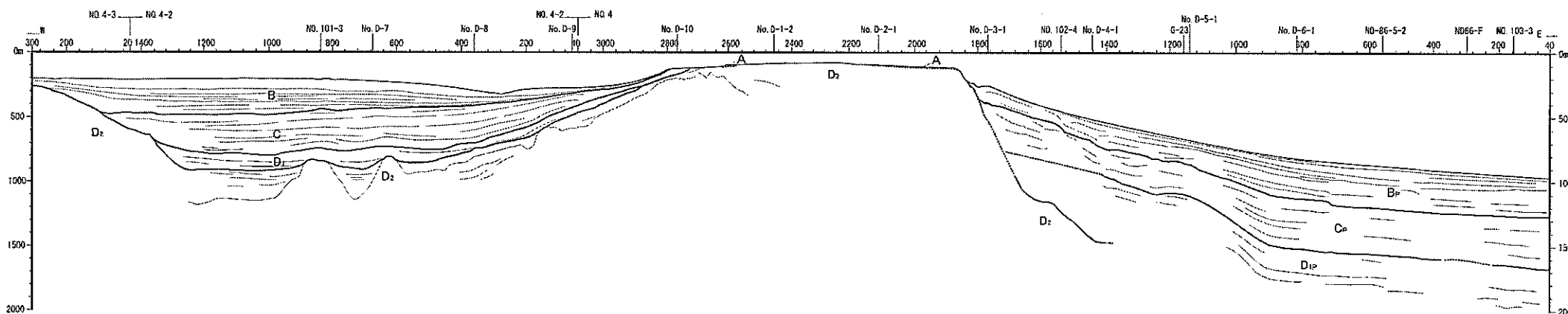
- A 層(第四紀後期更新世最末期~完新世)
- B 層(第四紀中期更新世~後期更新世)
- C 層(第四紀前期更新世~鮮新世)
- D<sub>1</sub> 層(新第三紀中新世~鮮新世)
- D<sub>2</sub> 層(新第三紀中新世)
- D<sub>1P</sub> 層(完新第三紀)
- 地層境界
- 推定地層境界

縮尺比 1:5



0 10km

NO. 4



第 32-1 図 敷地周辺調査海域海底地質断面図